
僕らの隅っこの弱虫な世界

七月@

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕らの隔つこの弱虫な世界

【Nコード】

N9235P

【作者名】

七月@

【あらすじ】

「子どもの数が増えたから減らします」 — 『Genocid e』 ジェノサイド 政府公認の、惨殺実験。殺戮ゲーム。対象者は新時代につくられた『新しい子ども達』。期限は一週間。壊れてしまった、ぼくの世界。

1 v s 2 0 (前書き)

こんにちは。初めて書くのでいたらない点もあると思いますが、ご了承ください！

ある事件を境に少子化の時代が幕を閉じてから長い時が過ぎた今、
国の人口の6割は未成年　こども　が占めている。

少年犯罪の増加が著しく目立ち、頭を悩ませた政府はあるひとつの
計画を発案させた。

政府公認の殺人計画―『Genocide』　ジェノサイド。

「　子どもの数が増えたから減らします」

この国は、そんな国だった。

新時代以降につくられた子ども『新しい子ども達』。

学園都市の最強、一柏木　葵　かしわぎ　あおい
最弱の、一賢木　小女　さかき　おとめ

パラドックス研究所

一椀ノ賀　もみじのが　学園

世紀末ムルロア実験

一品番　ナンバー　の無い少年たち

「すべての大人」VS「すべての子ども」

試験期間は一ヶ月。

殺やねば負ける、殺られれば終わる。

この血塗られたゲームを制するのは、果たして

ぼくらの小さな世界は、壊れてしまった。

1 V S 2 0 (後書き)

重いお話になりそうですが、よかったらどうぞ……。。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9235p/>

僕らの隅っこの弱虫な世界

2011年1月8日22時11分発行